

教育広報

いわみざわ市の教育

●●特集●●

確かな学力の向上を目指して



平成17年から改修工事が進められていました東山公園陸上競技場がついに完成し、今年度から供用開始になりました。

5月13日には、オープン記念行事が催され、テープカットの後に一般開放されました。





確かな学力の 向上を目指して

子どもたちが個性や能力を生かして、
将来自立した人間として生きていくた
めには、「確かな学力」や「豊かな心」、
「健やかな身体」をバランスよく育む
ことが必要です。

今号では、中でも「確かな学力」の
向上に視点を当てて、岩見沢市の各学
校の具体的な取り組みを紹介します。

確かな学力とは

「確かな学力」とは、読み、書き、計
算などの知識や技能はもちろんのこと、
これに加えて、より良く課題を解決で
きるなどの総合的な資質や能力をさし
ます。

確かな学力

- ◆学ぼうとする力
意欲や興味・関心など
- ◆学ぶ力
見つける、調べる、まとめる、
伝える、振り返るなど
- ◆学んだ力
知識や技能など
- ◆学んだことを生かす力
自分の力を駆使して課題解決
することなど

文部科学省指定

「学力向上拠点形成事業」

平成17～19年度

▼東小学校

算数の授業において、加配教員や外
部人材を活用したチーム・ティーチ
ング（複数の指導者による指導）や少
人数指導を行っています。また、問題
解決的な学習の工夫や課題とまとめが
明確な板書計画とノート指導の充実を
図ることも、朝読書や放課後に習熟
の程度に応じた学習を行っています。

▼豊中学校

学習状況調査（教師や生徒のアンケート）の結果に基づき、学習意欲を高める学習指導と評価の工夫を図っています。また、この生徒にも学習の目標を達成させることを目指し、個に応じた支援の充実を図っています。

▼上幌向中学校

学習したことを定着させる指導方法の工夫を図るとともに、学習支援員（地域人材）が積極的に授業に関わり、学ぶ力と学ぶ意欲を高める指導に取り組んでいます。また、夏・冬休みには、地域人材の協力を得て行う学習支援「上幌塾」を開いています。



地域の方が指導に関わる理科授業

▼明成中学校

コミュニケーション能力や表現力を高め、基礎学力をさらに発展させる指導を行うとともに、加配教員、外部人材によるチーム・ティーチングや少人数指導、習熟の程度に応じた放課後の繰り返し学習に取り組んでいます。

北海道教育委員会指定

「学力STEPアッププロジェクト」

平成18年度～20年度

▼第一小学校

退職教員を中心に組織された鉄北地区地域教育研究センターと連携し、放課後学習支援・学習相談に取り組んでいます。



退職教員の方による放課後学習

岩見沢市教育委員会

「確かな学力育成事業」

平成16年度～

▼全小中学校（25校）

それぞれ標準学力検査を実施し、全国水準や自校の昨年度までの結果との比較等の分析により、児童生徒の学力実態を把握し、課題解決の方策を立てて実践しています。

▼第二小学校

算数科の学力向上を目指して、研修による授業改善、基礎・基本の習熟を目指すチャレンジタイム、教員や地域人材による放課後学習支援「ひろが塾」など、総合的な取り組みを進めています。

▼光陵中学校

北海道教育大学岩見沢校の学生の協力を得て、国語・数学・社会・英語の教科で授業をサポートするなど、基礎・基本の定着を図る指導（発展的・標準的・基礎的な学習）を行っています。



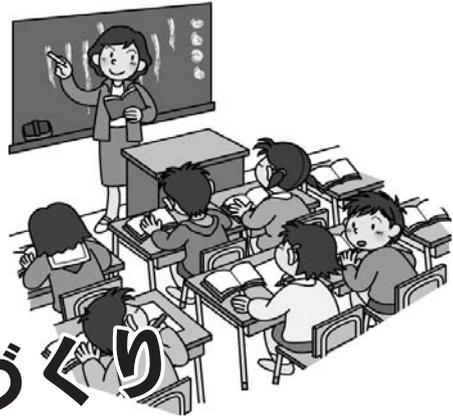
教育大学生の協力によるプリント学習

今回紹介した他にも、市内各小中学校において、児童生徒の授業評価に基づいた授業の改善、学習指導へのパソコンの積極的な活用、小学校教科担任制の導入、中学校選択教科の補充・発展的内容の充実、基礎・基本の確実な定着を図る取り組み、学校と家庭が連携して家庭学習の習慣化を図る取り組みなどが行われています。また、多くの学校で公開研究会を開催するなど、取り組みの成果を積極的に発信しています。

今後も各学校において、児童生徒の実態に基づき、「確かな学力」の向上を目指した取り組みを進めていきます。

問合先 指導室 ☎23局4111

みんなの学校づくり



市内 26 の小・中学校・市立高校を順次紹介します。

* 全員の力で

ふるさとを綺麗に

幌向小学校



今年も6月に恒例になっています「ふるさとをきれいに」が行われます。PTAや地域の方々、豊中学校の生徒と子どもたちが自らの手で公園や駅舎内の清掃、さらには学校前に「ゴミ入を移植します。」

ふるさと「ほろむち」を見直し、ふるさとを

大切にする意味のある教育活動です。また、花を植えることにより植物を通して自然に対する関心を高めることも、成就感や連帯感、さらには自主性や社会性を培うことにもつながると考えています。「命」の大切さも体験します。10月にも「ふるさとをきれいに」を行います。

このように地域や保護者の方々と児童が一体となって活動することが地域に開かれた学校の一助となればと考えています。

今年も例年以上に内容の充実した「ふるさとをきれいに」になりますように……。



* 地域と守る

東小スクールガード

東小学校



従来、東小では「旗波作戦」等で交通安全を中心に地域と学校が一体となった取り組みを行ってききましたが、昨年度からは子ども達の生活全般を見守る地域組織として改変された「東小学校地区生活安全推進委員会」と連携する形で東小スクール

ガード事業に取り組んでいます。18年度は車用ステッカーとネームプレートを配布し、散歩や買い物時を利用した「地域パトロール」や学期初めに行う「朝の声かけ運動」の他、民間警備会社に依頼しての「防犯教室・講演会」の実施などで地域の皆様とともに活動を進めてきました。

今年度は、声かけ運動の充実やサポートハウスの確認、地域ボランティア体制の確立等を課題として取り組みを進め、多くの子ども達を見守っていきたいと考えています。



地域との連携
地域学習や安全対策

美流渡小学校



生活科や総合的な学習の時間を中心に、地域の自然や産業、文化を調べたり、体験したりする地域学習を進めています。昨年度は、地域を代表する農業の一つであるぶどうを取り上げ、ぶどう狩り体験やジャムづくり等の学習を行いました。また、

地域に住む方に講師になっていただき、長年撮りためた地域の植物、動物、建物などの写真を使いながら、地域の自然や歴史の学習を行いました。

安全対策では、昨年度、清園中・志文小・メープル小・美流渡中と連携し、「子どもを守ろう〜愛・eye作戦」のプレートや携帯カードを作成し、PTAや地域に協力をお願いしました。また、交通安全街頭指導や緊急時集団下校訓練にも協力をいただきました。



「自立」を目指した
生徒の主体的活動

緑中学校



昨年度は市の事業と連携し、生徒会が中心となって幾春別川の堤防にある花壇の雑草除去作業に取り組みました。

また、「自立の時間（総合的な学習の時間）」においては、中学生の前に現実に横たわる問題（進路、福祉、

地域社会など）について考え探求する姿勢を育てたいと考え、教育長や市長、その他人生の先輩から実体験や自分の人生のあゆみを講演（3年）していただき、市職員による福祉全般についての講演と高齢者施設、障害者施設などでの体験学習（2年）、市内での職場訪問・職業体験（1年）に取り組みました。

こうした取り組みを事後に検討・分析し、どのように改善を図っていくかという一連の過程を重視し、ローカル・オペティマム（それぞれの地域にとって最適な状態）を実現しようとする学校態勢が、教育目標である「自立」の具現化につながるものと考えています。



クリーンアップ北村

北村中学校



「自分達のまちをきれいに」を合い言葉に生徒会が中心となって「クリーンアップ北村」を毎年開催しています。

北村中学校生徒会が86年に始め、97年に北村小学校児童会も加わり、今では北村地区青年団をはじめ、岩見沢市役所北村支所職員、

北村中学校全校生徒、北村小学校3年生以上の児童、合わせて約300名以上が北村地区市街地や道道周辺のごみ拾いを合同で行っています。活動では、小学生・中学生・青年団・市役所職員が一緒になった班を構成しており、豊かな人間関係を養う意味でも絶好の機会になっています。今年度も10月2日に実施予定で、異世代の活動を通し、ボランティア精神、そして地域に対する興味・関心を今まで以上に持つてもらえればと思います。



今回は、美園小学校、日の出小学校、第一小学校、豊中学校、上幌向中学校を紹介しします。

市P連 の活動紹介

4月27日(金)、渡辺市長をはじめ、多くのご来賓の出席を賜り、平成19年度岩見沢市PTA連合会総会・懇親会が開催されました。懇親会では、新年度を迎え各単Pで選出された役員間の、そしてまた教育委員会との初顔合わせが行われました。

岩見沢市PTA連合会には幼稚園・小学校・中学校・高校のPTAが加盟し、毎年総会には全学校からの参加(出席)を載っています。本市規模のPTAが、このように全的に連合会として連携活動し、また、教育委員会とも繋がりをもち活動出来るという事は大変貴重であり、有り難い事と考えています。

(昨年の市町村合併で加盟単Pは増え、更に今年度は高等養護学校の参加も戴きます。)

今年度もこの連携を大事に、各単P

での活動はもとより、更に(連合会として)、岩見沢市の明日を担う子ども達のために、大人として何が出来る事か、また、為していくべき事は何か、を意識し活動していきたいと考えています。

今年の主な行事

【市PTA連合会】
*総会

4月27日(金) 岩見沢平安閣

*研究大会

7月14日(土) 文化センター

*教育懇談会

11月30日(金) サンプラザ



市P連総会

【南支知地区PTA連合会】

*研究大会

9月1日(土) 美唄市

*母親委員会

10月14日(日) 夕張市

【北海道PTA連合会】

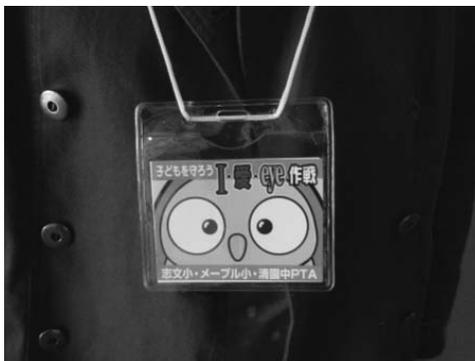
*全道PTA研究大会札幌大会

10月20日(土)～21日(日) 札幌市

子どもを守ろう!

市内小中学校では、子ども達の安心・安全を守ろう!と様々な取り組みをしています。

学校・PTAは勿論、ぜひ地域の方々のあたたかい大人の目で、子ども達の安心・安全にご協力下さい。



不審者から子どもを守ろう

〈問合せ〉

岩見沢市PTA連合会事務局

事務局長 小松 タドル

(清園中学校 教頭)

☎ 22局 4859 FAX 22局 4950

おやじの会

活動紹介

市の女性青少年課と各単P会長有志で実行委員会を立ち上げ、3年目のおやじの会。3年計画の2年目の昨年は、「おやじと子どものワークショップ」を行いました。講師に三笠森水遊学舎理事長を招いた講演会、そしてその後のワークショップと、おやじと高校生が顔をつき合わせ、お互い普段思っていることを出し合い交流を深めました。さて、最終年度の今年はどうな企画があるか楽しみです。是非ご参加ください。



おやじと子どものワークショップ (3月19日)

『書を楽しもう』 子ども書道教室

栗沢書道同好会

栗沢書道同好会は、平成4年4月に日本書道評論社の会員25名で発足して、今年で15年目になります。

活動して行く中で、栗沢町の子も達に日本文化としての毛筆の美しさ、筆をこる楽しさを知ってもらいたく、

平成7年から師範以上の会員が中心となり、「子ども書道教室」を開催しています。

毎月3回程度、栗沢文化センターを会場に土曜日の午後1時から4時まで行っており、「書の研究」(学生版)を使って指導しています。

現在、教室には幼児2名、小学生45名、中学生11名、高校生5名の他、初心者の方4名が参加しています。

この11年間で昇段級試験を受験して、学生名人が37名誕生し、高校生5名が



特待生にもなりました。全国書道コンクールでは、毎年書熟の部で団体優秀賞を受賞し、これまで3

名が最高賞を受賞しました。

全国学生書道展覧会でも高校の部で特別賞一席に入賞しています。また、栗沢町文化協会にも加盟しており、毎年、文化祭に出展するなど町内にも親しまれています。

北海道小中学生訪中団にも参加して、中国の書の表現法を学び、作品の交換をしてきました。

少子化、指導者の高齢化等の課題もありますが、近年、子どもの社会問題が多い中、「子ども書道教室」の活動を通して、子ども達の書の上達と、静かに一生懸命に書道に向き合い筆を持つて書いている姿には感慨深いものがあります。

今後とも、この活動を続け、毛筆を通して子どもの健全育成と社会参加のために頑張つて行きます。



第38回全国学生書道展覧会高校の部特別賞一席入賞の林里恵さん

『頭と心と体のスポーツ』 オリエンテーリング

岩見沢オリエンテーリング協会



ポスト

オリエンテーリング(略称OL)とは、地図に示された幾つかの地点にあるポスト(その地点にある印)を見

つけるために、まず地図上で地形や植生などを読み取り、さらにコンパス(方向磁石)を使いながらそこまでの距離や方向を調べます。そして、自分で進路を考えて順にまわり、できるだけ早くゴールするスポーツなのです。

ですから、地図を読むなどで頭を使い、素早く進路を決めて走り出す判断力と勇気が必要とし、早く走ることで、体力も必要になります。つまり、頭と心と体を使って行うスポーツなのです。



コンパス

(このように、地図やコンパスを使って急いでまわってくるなど聞いて、

とてもできずともないと思つ人がいるようですが、コース設定の仕方によっては初めての人もスタート前に説明を受けて、コースをまわることができまので心配ありません。

OLでは、ポストを順番に見つけてまわるポイントOLが基本ですが、その他にも各種のOLがあり、スキーOL、ナイトOLなどもあります。また、日本で考案された徒歩OLでは、歩いてまわることになっていますので、体力に合わせて誰でも参加できます。大会ではコースの難易、年齢、男女などでクラス分けもします。

学校では、校内でのミニOLやリレーOLなどいろいろな方法が考えられ、岩見沢オリエンテーリング協会では、実施に向けての相談にも応じます。また、毎年初心者も参加できるコースで、春と秋の大会と、夏には初心者教室を実施しますので、ぜひ体験してみてください。



▶▶▶ 平成 18 年度岩見沢市教育実践奨励表彰 ◀◀◀

岩見沢市教育委員会では、市の学校教育および社会教育における実践研究、または地域の教育振興に実績が顕著な個人および団体並びに体育・文化活動等で広く活躍した児童・生徒を表彰いたしました。

★表彰式：平成 19 年 2 月 23 日 岩見沢市文化センター

★教育実践奨励賞受賞者紹介（23 個人、5 団体）

氏名・団体名	功績概要
田中 僚那 (岩小 4 年)	第 52 回青少年読書感想文全国コンクール小学校中学校年の部毎日新聞社賞受賞。
吉田 尚弥 (美園小 6 年)	第 25 回北海道小学生バドミントン大会ダブルス優勝、全国大会準優勝。
田中 里奈 (東光中 3 年)	第 61 回北海道選手権水泳競技大会 100 メートル 200 メートル平泳ぎ優勝。
渡部 哲史 (光陵中 3 年)	平成 18 年度北海道中学校体育大会第 27 回北海道中学校ソフトテニス大会ダブルス優勝。
鏡 沙姫 (緑中 3 年)	平成 18 年度北海道中学校体育大会第 37 回北海道中学校バドミントン大会ダブルス準優勝、全国大会 3 位入賞。
樋口 明香 (上幌向中 3 年)	平成 18 年度少年の主張大会において持ち前の表現力を発揮し、優れた成績を収めた。
木村 友梨香 (清園中 2 年)	第 60 回全日本学生音楽コンクール北海道大会第 1 位、全国大会出場。
柴田 麻美 (岩東高 2 年)	第 52 回青少年読書感想文全国コンクール高等学校の部毎日新聞社賞受賞。
福岡 明日翔 (駒岩高 2 年)	第 42 回北海道高等学校囲碁選手権大会個人戦優勝、全国大会上位入賞。
西下 賀恵 (会社員)	第 61 回国民体育大会冬季スキー競技会ジャイアントスラローム優勝。
江藤 理恵 (上幌向中教諭)	第 52 回青少年読書感想文全道コンクールにおいて上幌向中学校を学校賞に導くなど国語力の向上を図った。
丸山 修	第 58 回北海道ソフトテニス選手権大会シニア男子優勝。
光陵中 女子ソフトテニス部	平成 18 年度北海道中学校体育大会第 27 回北海道中学校ソフトテニス大会女子団体優勝、全国大会出場。
駒岩高 囲碁同好会	第 42 回北海道高等学校囲碁選手権大会優勝、全国大会 3 位入賞。

氏名・団体名	功績概要
水間 陽介 (美園小 6 年)	第 25 回北海道小学生バドミントン大会ダブルス優勝、全国大会準優勝。
寺田 羽瑠那 (光陵中 1 年)	第 4 回全日本女流剣士優勝大会上位入賞。
石津 幸恵 (北村中 2 年)	平成 18 年度全日本ジュニアテニス選手権シングルス及びダブルス優勝。
渡部 弘晃 (緑中 3 年)	平成 18 年度北海道中学校体育大会第 39 回北海道中学校スキー大会スペシャルジャンプ準優勝、全国大会上位入賞。
松尾 薫乃 (緑中 3 年)	平成 18 年度北海道中学校体育大会第 37 回北海道中学校バドミントン大会ダブルス準優勝、全国大会 3 位入賞。
諏訪 幾美 (上幌向中 3 年)	第 52 回青少年読書感想文全国コンクール全国学校図書館協議会長賞受賞。
高橋 正人 (緑陵高 3 年)	全国商業高等学校協会主催の検定試験において、簿記実務、ワープロ実務、商業経済、情報処理、珠算電卓実務（電卓）の 5 種目で一級合格。
梅谷 豊巨 (駒岩高 1 年)	第 30 回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会個人戦優勝。
藤原 加織 (浅井学園短大 2 年)	第 28 回総季北海道学生シングルスソフトテニス選手権大会優勝。
岡崎 裕史 (東光中教諭)	生徒指導担当者として、指導体制の確立を図ることともに、岩見沢市生徒指導連絡協議会において、青少年の健全育成の推進のために中心的な役割を果たした。
長澤 孝次 (東小教諭)	校内研修の中心的役割を担い、公開研究大会等での成果を発表するなど学力向上を目指した授業改善を主題とする研修を積極的に推進することともに、岩見沢市教育研究所の教育研究の中心的な役割を果たした。
野球少年団 美園スターズ	ホクレン旗争奪第 24 回北海道軟式野球選手権大会優勝。
緑中 バドミントン部	平成 18 年度北海道中学校体育大会第 37 回北海道中学校バドミントン大会女子団体優勝、全国大会出場。
美園小 父母と先生の会	組織運営及び日頃の活動を評価され平成 18 年度優良 P T A 文部科学大臣表彰受賞。

★教育実践児童生徒優秀賞受賞者紹介（13 個人）

氏名	功績概要
神力 海斗 (第二小 2 年)	第 18 回 MOA 美術館全国児童作品展入選。
三枝 力起 (美園小 6 年)	第 25 回北海道小学生バドミントン大会シングルス準優勝、全国大会出場。
遠藤 祐太 (光陵中 3 年)	平成 18 年度北海道中学校体育大会第 37 回北海道中学校バドミントン大会シングルス 3 位入賞、全国大会出場。
南 風花 (緑中 3 年)	平成 18 年度北海道「道民家庭の日」絵画コンクール最優秀賞受賞。

氏名	功績概要
遠山 奈美佳 (東小 6 年)	第 30 回ピティナ・ピアノコンペティション北日本 I 地区本選大会第 1 位、全国大会出場。
乾 綾花 (第一小 6 年)	第 44 回全北海道空手道選抜選手権大会個人形・部及び組み手の部において優れた成績を収めた。
佐久間 浩平 (緑中 3 年)	平成 18 年度北海道中学校体育大会第 37 回北海道中学校バドミントン大会シングルス準優勝、全国大会出場。
吉田 弥生 (上幌向中 3 年)	第 20 回全道中学生の税をテーマとしたポスターコンクール北海道知事賞受賞。
藤原 愛由美 (緑陵高 3 年)	全国商業高等学校協会主催の検定試験において珠算電卓実務（そろばん）、簿記実務、ワープロ実務、珠算電卓実務（電卓）の 4 種目で一級合格。
川嶋 麗美 (緑陵高 3 年)	全国商業高等学校協会主催の検定試験において、ワープロ実務、商業経済、情報処理、珠算電卓実務（電卓）の 4 種目で一級合格。
古矢 明美 (緑陵高 3 年)	全国商業高等学校協会主催の検定試験において簿記実務、商業経済、情報処理、珠算電卓実務（電卓）の 4 種目で一級合格。
井沼 智 (駒岩高 3 年)	平成 18 年度北海道高等学校総合体育大会水泳競技大会 1500 メートル自由形準優勝。
越山 穂波 (立命館慶祥高 2 年)	平成 18 年度第 29 回全国 J O C 夏季水泳競技大会シンクロ競技北海道予選会優勝。

＝ご意見・ご要望をおよせください＝

<担当>

岩見沢市教育委員会企画総務課情報企画係

〒068-8686

岩見沢市鳩が丘 1 丁目 1 番 1 号

☎ 0126-23-4111（内線 416）

FAX 0126-25-2995

メール ejyouhou@i-hamanasu.jp